

レース参戦報告書



大会名称：S-FJ&F4 日本一決定戦

開催場所：ツインリンクもてぎ

開催期間：11/25(金)～11/27(日)

参加クラス：JAF-F4

参加台数：14 台

エントラント：チームサムライ

一條拳吾

- 使用車両

型式：B-Max RK01

排気量：2000cc

タイヤ：DUNLOP

車両名：サムライサポーターズ F4

- 個人スポンサー様

株式会社清水薬局 様

ディージャック株式会社 様

SPK株式会社 様

Fujisan D&P 様

F.ドリーム平塚 様

田島敬之 様

宇塚吉幸 様

- 写真提供

サムライサポーターズの皆様

練習走行

日付：11/25(金),11/26(土)

天気：晴れ

・レポート

金曜日の練習走行がこのコース初走行という状態で挑んだ今回のレース。金曜日の走り出しは、前日の雪の影響により所々コースが濡れた状態での走行でした。今回共にレースを戦った F4 自体、乗るのが 3 回目ということもあり、まずはコースと車に慣れる作業から始めました。初めて走るもてぎロードコースは、前半セクションの連続する複合コーナーの攻略に苦戦しました。ブレーキで行き過ぎてクリッピングポイントを外したり、逆に早くクリップに着いてしまって立ち上がりで膨らんでしまったり。1年半前のタイヤで走った金曜日はトップから 3 秒落ちという結果で終わりました。しかし、走行する度にデータと向き合い、メカニックさんにもアドバイスをいただいて、初めてニュータイヤを降ろした土曜日の最後の走行は、トップから 1 秒落ちというところまでこれました。まだ自分の乗る車に関して何も知らない僕のために、走りとセッティングを教えてくれたメカニックの皆さんのおかげで、決勝の表彰台獲得に向けて希望が見えた前日走行でした。



予選

日付：11/27(日)

天気：雨

・結果

2位/14台 (2'07.646)

トップとの差 +1.706

・レポート

フォーミュラカーでの雨は初めてで、いきなりそれが予選という状況でしたが、思ったより緊張しませんでした。今までカートレースでは、決勝日になると顔色が悪いと周りに心配されるほど緊張するタイプでしたが、今回のレースは全体的にリラックスして楽しめていました。また、この雨の予選では比較的自信を持って走れました。カートレースをしていたときも、雨のレースでの勝率が高く、雨のレースに対する苦手意識が無かったからだと思います。しかしそれ以前に、いきなりの雨にも関わらず全く不安なく走れる車を作ってくれたメカニックの皆さんのおかげで、予選中も色々試しながら走ることができました。結果はトップに大差をつけられてしまいましたが、まだまだ伸び代があるので、プレファイナル、決勝とどこまで近づけるか楽しんでいこうと予選を終えました。



セミファイナル

日付：11/27(日)

天気：雨

周回数：8周

・結果

4位／14台 (2'07.111)

ファステスト (2'04.851) +2.260 トップとの差 +37.427

・レポート

セミファイナルからはレース形式で走行が行われます。一番不安だったのはやはりスタートです。F4のスタートはカートのローリングスタートと違い、止まった状態からスタートするスタンディングスタート形式になります。もちろんこれも初めてやることなので、前日練習でも2回練習しましたが、2回ともストールこそしなかったものの回転が落ちすぎてしまい出遅れていました。そして迎えたプレファイナルのスタートはホイールスピンをさせすぎてしまい出遅れました。1コーナーで外側から1台に並ばれましたが、なんとか2位をキープして2コーナーを立ち上がりました。しかし、立ち上がりで後ろから追突されてしまいスピン。7位まで後退しました。その後すぐに巻き返しを図りましたが、予選時とのタイヤの変化に対応できず、全くペースを上げられませんでした。あと0.5秒速く走れていれば、3位と2位も捕えられたと思います。



決勝

日付：11/27(日)

天気：雨

周回数：15周

・結果

3位/14台 (2'06.040)

ファステストタイム (2'04.826) +1.214 トップとの差 +24.522

・レポート

路面が場所によって乾き始めた決勝スタート前。しかしスタート直前で再び雨が降ってしまったため、全車レインタイヤでのスタートとなりました。決勝のスタートはギアが2速に入った状態でスタートというミスを犯し、出遅れました。スタート後5番手に順位を落としましたが、前の1台はすぐにパスして4番手に浮上。この間にトップは逃げてしまいましたが、2番手を争う前の2台には食らいつけるかといったところでした。ところが、周回を重ね徐々に路面が乾き始めると、前2台との差も徐々に開いていってしまいました。終盤に差し掛かるところで前の1台がスピンしたことにより3位に浮上しましたが、依然2位の車には離されたままチェッカーとなりました。路面が乾いていく中での内圧管理、タイヤマネージメント、雨での走行ラインの悪さが敗因だったと思います。



総括

ほとんどのことが初めて尽くしだった今回のレースは、当日サポートしてくれたメカニックさんをはじめ、たくさんの方々の協力があって参戦まで漕ぎ着けることができました。ご協力いただいたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。新しいキャリアのスタートとなった今回のフォーミュラデビュー戦ですが、なにより3日間に渡ってこのF4に乗れることがとにかく幸せでした。フォーミュラカーはカートのように毎週練習したりできないので、乗れる日数は限られます。3日間F4と共に試行錯誤をする中で、新たに知れた部分もありましたが、それ以上にこのF4のことをなにも分かっていないし、そもそも車というものが分かっていないことに気付かされることが多く、そこに関しては今まで勉強してこなかった自分が恥ずかしくなりました。このままでは速くなれない。もっと知る必要があると強く感じました。

レース自体、昨年 of 全日本カート選手権最終戦以来1年以上振りのレースでしたが、忘れかけていた感覚を思い出せた気がします。純粋に、速くなりたい。レースウィークは、ただそれだけを考えて過ごしていました。まだまだ力不足で、自分なりに考えて試したことはほとんど結果に結びつきませんでした。走りのことだけを考える時間は本当に楽しく、有意義なものでした。このレポートを作成している今も、新たに試してみたいことがどんどん浮かんで妄想を膨らませています。

次の走行がいつになるか、来年のレースをどうするか、現状ではまだなにも決まっていませんが、早くまた乗りたいし、またレースがしたいです。今後はもっと熱くレースへの情熱、乗ることに対する情熱を燃やして、一人でも多くの人に応援していただけるように努力していきますので、引き続きの応援をよろしく願いいたします。

一條拳吾